

# 第39回福島県中学校新人ソフトテニス大会（個人）

## 第29回学校対抗福島県中学新人ソフトテニス大会（団体）

### 競技要項

- 1 **主 催** 福島県ソフトテニス連盟
- 2 **共 催** 福島市教育委員会
- 3 **後 援** 福島県ソフトテニス連盟 福島県中学校体育連盟
- 4 **主 管** 福島県県北ソフトテニス連盟  
福島県ソフトテニス連盟強化委員会中学強化部
- 5 **協 賛** 株式会社ルーセント ナガセケンコー株式会社
- 6 **期日・会場**

個人戦	令和元年11月 2日（土）	男子の部
	令和元年11月 3日（日）	女子の部
	令和元年11月10日（日）	男女の部（選抜・個人戦団体戦予備日）
団体戦	令和元年11月 9日（土）	男女の部

7：00開場 7：20練習開始 8：20受付終了・監督会議  
8：50開会式 9：10競技開始 競技終了後表彰式
- 7 **会 場**

11/2（土）・ 3（日）	福島市庭球場18面
11/9（土）・10（日）	福島市庭球場18面
- 8 **試合方法**

個人戦	2日・3日は、3ペア×32ブロックによる予選リーグ、各ブロック1位ペアによる決勝トーナメント戦（7回ゲームを原則とする）。荒天時は全てトーナメント戦で行うこともある。各地区男女16組の合計男女各96組となる。
団体戦	10日は、2日・3日の男女ベスト16+推薦8組 合計男女各24組によるリーグ戦。 学校対抗の3チーム×8ブロックによる予選リーグ、各ブロック1位校による決勝トーナメント戦（7回ゲームを原則とする）。 荒天時は全てトーナメント戦で行うこともある。各地区男女4校の合計男女各24校。
- 9 **参加資格**
  - (1) 福島県の中学校に在学しており、各地区ソフトテニス連盟より推薦されたチームの中学1・2年生であること。異なる中学校でのチーム構成は認めない。
  - (2) 日本ソフトテニス連盟に会員登録を行った生徒であること。
  - (3) 日本ソフトテニス連盟のジュニア審判資格を取得していること。
  - (4) 日本ソフトテニス連盟の技術等級（3級以上）を取得していることが望ましい。
  - (5) 団体戦の1チームとは、同一校の選手6名以上8名以内（対戦の過半数を超える場合は可とする）と監督1名（外部コーチ1名）で構成する。
- 10 **外部コーチについて**

外部コーチは、校長の認めた者とする。外部コーチについては監督の代わりにベンチ入りすることを認める。その際、教育的な指導の範囲を超えた選手への指導をしてはならない。ただし、他の中学校の教職員・校長の外部コーチとしてのベンチ入りは認めない。
- 11 **参加料** 個人戦 1組 1600円 団体戦1チーム4000円  
(大会当日受付時に納入すること。保険料を含む)
- 12 **競技上の規定及び方法**
  - (1) 現行の日本ソフトテニス連盟「ソフトテニスハンドブック」による。
  - (2) 使用球は個人戦はケンコー・団体戦はアカエムの白ボールとする。
  - (3) 個人戦の際、ベンチには監督または外部コーチ1名のみ入ることを認める。
  - (4) コーチはサイドのチェンジ及びファイナルゲームに入る場合のみ認めるが1分以内に次のゲームを始める。（45秒でレッツプレイ）
  - (5) 服装は日本ソフトテニス連盟公認（中体連規定）のものとする。上はえり付半袖スポーツシャツ、下は膝より上のパンツ・スカート等、ウェアの背中に福島県ソフトテニス連盟のゼッケンを着用すること。アンダーウェアは着用を可とする。ただし、単色のものに限る。競技中にシャツの裾を外に出したり、袖をまくることはしない。

- (6) 学校名や校章などの記入がされているウェアの使用は認めない。(隠すこと)
- (7) ソックスは、くるぶしがかくれるものを着用する。ハイソックスは認めない。
- (8) 選手(監督・コーチも含む)は、テニスシューズを使用する。
- (9) 腕や帽子の見える部分などに、書き込み等をしないこと。
- (10) 身体の故障時のタイムでは、選手の他に監督(コーチ)や救護などの手当てを認める。
- (11) 基本的に生徒審判になるので、審判のときは必ずジュニア審判のワッペンを着用すること。
- (12) 医療用具について、キネシオテープは白色またはベージュ色、テーピングは白色とする。また、サポーターは白色または黒色とする。アンダーウェアも医療用具となる。

**13 表彰** 個人戦は、第5位(ベスト8)まで、団体戦は第3位(ベスト4)までを表彰する。

**14 競技上の規定及び方法**

- (1) 会場使用上の注意
  - ① 朝の会場練習については後日各地区の専門委員長を通して連絡する。
  - ② 会場周辺の道路・駐車場・空き地でのボールを使った練習は禁止する。
  - ③ ゴミはすべて持ち帰りとする。
  - ④ 会場周辺の駐車場が少ないので、できるだけ公共交通機関を利用すること。
  - ⑤ 会場周辺の一方通行や時間帯進入禁止に指定されている道路に注意すること。
- (2) 万一の事故発生に備え、各学校で傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。各自、保険証を持参することが望ましい。
- (3) 団体戦の男女ベスト8に入賞した学校は、12月7日(土)【男子】・8日(日)【女子】郡山西部第二体育館で行われる福島県中学校インドアソフトテニス大会の出場権を得る。
- (4) 申込書に記載する選手氏名・学校名・学年等の情報は、本大会プログラムに掲載し、公表するとともに、大会結果集約に利用する。また、成績上位者については、報道発表並びにホームページに記載する。申込書に記載する情報に同意が得られない場合等、事情がある場合は、各中学校顧問を通して県連盟および事務局に連絡をする。特に申し出がない場合は上記内容を承諾したものとす。

**15 申込先** 大会事務局(電話での問い合わせは、17:00以降にお願いします。)  
 〒976-0042 相馬市中村字本町132番地の1  
 相馬市立中村第一中学校 猪股尚文宛  
 TEL 0244-35-2237 FAX 0244-35-2355  
 メール inomata.naobumi@gmail.com (中体連専用)

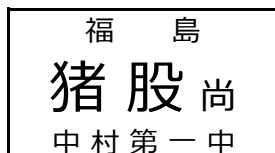
**16 申込締切** 団体戦・個人戦：令和元年10月17日(木) **郵送必着**  
 ※ 大会要項および参加申込用紙を以下のアドレスからダウンロードして申込書を作成すること。過年度の申込書等は使用しないこと。(福島県中学生ソフトテニスのページ)  
**Webアドレス <http://fukushima-jst.sakura.ne.jp/>**  
 ※ 申し込みが締め切り間際になる場合は、FAXかメールで送ること。その際、後日必ず申込書を郵送すること。期日内に申し込み・連絡がなされない場合は、棄権したものとみなす。

**17 雨天時の連絡先** 各地区専門委員長へ連絡を取り確認する。地区大会などで連絡先を確認すること。  
 ※ 各地区の専門委員長を通して、6:00~6:30に問い合わせること。  
 基本的には、会場集合となる。個人戦予備日は男女とも10日となる。  
 (9日の団体戦のみ順延の場合も、予備日は10日となる。)

**18 その他**

- (1) 宿泊・弁当については、斡旋しないので各校で必要に応じて申し込むこと。
- (2) ゼッケンについては、福島県ソフトテニス連盟のゼッケン(3段)を着用すること。背中・B5横判(白地)の大きさに学校名と姓を書き、校名に「中」はつける。文字は「漢字」もしくは「仮名」を使用し、シャツそのものへのプリントは認めない。また、必ず四隅を止めること。安全ピンで可。

連盟の3段  
ゼッケン



- 上 1/4に県名(県は不要)
- 中央 2/4に姓(同姓がいる場合は、最初の文字を書く)
- 下 1/4に学校名(『中』をつける)